



1 能開大に見事5人合格!

2 『記事トレ』紹介



情報処理セキュリティコース	飯島 喬仁 (勝田工高卒)
//	小野 優羽 (鹿島高卒)
//	根本 晃希 (常磐大高卒)
//	米樹 綾佑 (佐和高卒)
生産管理コース	山田 真生 (勝田高卒)



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事> 茨城新聞(2024年5月8日)
「人材確保・育成に力」②
～県産業戦略部長 大竹真貴さん～

●山中悠梨音さん(那珂高卒)
◇要約：労働力不足が顕在化するなか人材の確保・育成のために県内企業への就職支援を行う。IT短大では、大学校化に移行するに当たって質・量の両面でデジタル人材育成に力を入れ、企業の稼ぐ力の強化につなげていく。
◇感想：県は労働力不足の中で人材育成に力を入れている。IT短大を大学校化し確かな人材育成のための政策を進めている。私もITで県内事業を支える一助として、茨城県や日本経済を好循環へと転換させられるようにしたい。



●菱沼大清さん(多賀高卒)
◇感想
学び舎がニュースに取り上げられていることはとても誇れることと思います。このような恵まれた環境で学べることに感謝し、これからも本県に貢献できるよう、最善を尽くして懸命に励んでいきたい。

●富永誠也さん(太田一高卒)
◇感想
IT短大の四年制大学校化により、優秀な人材を県内で育てたり、県内企業の賃金引上げで優秀な人材が県内に留まってもらいたい。私たちが、茨城県にとって必要な人材になれるように勉強を頑張りたい。基本情報技術者試験を先ずは取りたい。

●堀江詩音さん(日立北高卒)
◇感想
今私たちが生きている世界では、労働力、特にデジタル人材が不足している。私達IT短大生が自ら進んで学び、質と量を兼ね備えた高い技術を持ったエンジニアになることが大切だと考えた。また、地元で貢献できる人材になろうと決めた。



●平田柚子さん(石岡商高卒)
◇感想
人材育成や中小企業の成長策など、具体的な取り組み内容はとても説得力がありました。未来の茨城県を支える若い人材として、この支援策に感謝したい。県に貢献していきたいと感じました。未来がとても楽しみになりました。



本年度、関東職業能力開発大学校(略称：能開大)に5人の学生が合格しました。今後ますますIT技術を深め、更なる活躍が期待されています。喜び一杯の学生に、Q1 能開大、合格勝因のポイントは？ Q2 IT短大での学びは？ Q3 これからのIT活用は？について伺いました。

- Q1 能開大、合格勝因のポイントは？
A1 飯島さん「志望理由や目標を具体的に明確にした」
小野さん「大学を良く調べ、志望理由を確かにした」
根本さん「志望大学校と他大学との違いを理解する」
米樹さん「入念な準備と合格するという気持ち」
山田さん「友人とお互い練習し自己分析した」
- Q2 IT短大での学びは、どのように役立ちましたか？
A2 飯島さん「プログラミングやITの基礎力アップ」
小野さん「ITの実践力と問題解決能力を養えた」
根本さん「グループワークで、考えを整理し発表」
米樹さん「グループ作業で、多くの人と話したこと」
山田さん「様々な活動で、自分の役割を果たせた」
- Q3 これからのIT活用について？
A3 飯島さん「安全で効率的なシステムを作るIT人材」
小野さん「最適なソリューションを提供するIT人材」
根本さん「IoTで生活や仕事しやすい空間を提供」
米樹さん「ITの安全利用を守るセキュリティ技術者」
山田さん「IoT技術の更なる進歩を支える技術者」

